

# 第1回長崎県がん診療連携拠点病院研修会

## (アンケート調査結果)

開催日	平成19年7月14日土曜日		
時間	15:30~17:00		
場所	長崎大学医学部ポンペ会館		
出席者	78名	回答	21名
職務			
① 看護師	2名	(長崎大学医学部・歯学部附属病院1名 無記名1名)	
② 薬剤師	2名	(長崎大学医学部・歯学部附属病院2名)	
③ 検査技師	0名		
④ 医師	17名	(日赤長崎原爆病院2名 県立島原病院1名 長崎市民病院4名 長崎大学医学部・歯学部附属病院3名 佐世保総合病院1名 白髭医院1名 出口医院1名 無記名4名)	

### 今回の講演『外来化学療法のノウハウ』の内容について

#### ① 良かったところ

- \* 長崎大学医学部歯学部附属病院の化学療法室の様子が把握できた。
- \* がん対策基本法についての知識が得られた。
- \* 他院のシステムを見学され、良いところを取り入れ進めようとしているところが良かった。
- \* 大学病院の取り組みがわかった。
- \* 現状の状況がある程度理解できた。
- \* 急な準備にもかかわらず福島先生のわかりやすい説明に感謝(5名)。
- \* 大学病院といえどもいろいろな問題を抱えているのを知った。
- \* 具体的な準備状況がわかった。
- \* 若尾先生の説明もよく、理解を深めるのに役立った。
- \* 実例を交えてわかりやすかった。
- \* 他施設の概要がわかりやすかった。他施設の紹介が興味深かった。(3名)
- \* 質問がたくさん出て参考になった。
- \* 活発な議論が行われ、色々な情報を知ることができた

## ② 気になったところ

- \* 人員の確保や実際の運用について
- \* 自施設での実際がわからない。当院の外来化学療法室では、心のケアやギアチェンジにはまったく対応していないのか。
- \* 診断—治療—緩和への連携が今後うまくいくのか？今後の大学病院の取り組みに注目します。
- \* 各主治医科の負担が軽減されるのかやや気になる。
- \* 放射線科の先生の質問にもあった当番医の配分の問題。
- \* レジメン登録して副作用による減量の取り扱いは？  
癌研有明病院では体重・身長で自動的に決まるということでしたが。  
他施設では1週間前までにオーダー完了という風にありましたが長崎医療センターでは前日17時までがしめ切りでした。
- \* 新病院に移る前の現状では外来化学療法室を一ヶ所に集めても不便なだけと感じる。各診療所の通常の外来場所離れているため、事故のないように運営前に対象となる科のDrに説明をお願いする。
- \* 化学療法の副作用対策の実際
- \* ギアチェンジなどの緩和との協働。
- \* 短所、長所をもう少し具体的に。経済面も。

## ③ 講演に対する要望

- \* 具体的な抗がん剤についての知識。
- \* 化学療法の対象となり得る癌のステージについて
- \* 各専門職の実際についての講演。
- \* 具体的な1例（あるレジメンに対して要する時間等）を教えてほしい。

## 次回の講演で希望すること

- \* 多くの先生が参加し、活発な議論が行えること。
- \* 長崎市内での開催。
- \* 適切な退院支援に関する講演。“追い出された”感を持たせない方法。
- \* 会場の都合で懇話会が15:00に終わるのがわかっていたのだから研修会の開始は15:10ぐらいでよかったのではないか。次回は考慮してほしい。
- \* 放射線治療について。
- \* 緩和ケアチームの各病院での活動状況。
- \* 退院支援・退院調整の現状や実際。
- \* 緩和ケア・放射線治療に関して最新の知見等。
- \* 在宅ケアについて。
- \* 最も知りたいことは『地域連携クリニカルパス→胃・大腸癌について』の現状と運用。
- \* Bad news の上手な伝え方。

## がん診療センターに対する要望

- \* 診療可能な全がん腫の治療レベル（手術・放射線治療・化学療法・緩和ケア）を上げてほしい。大学病院の診療レベルが地方病院のレベルに反映される。
- \* 各拠点病院の（がん専門）MSW の情報交換の場が必要。
- \* 在宅スタッフと交流できる勉強会などを企画してほしい。
- \* 各医療機関や医療スタッフとの連携がうまくできることを望む。
- \* 興味を持っている職員も多いと思うので逐次現状を教えていただきたい。